

第二十四回 大津市民短歌大会 入賞作品（一般の部）

特選

大津市長賞

何回を腰かけただらうか正座できぬ母に買ひたる椅子の低さよ

嶋寺 洋子

（大津市）

大津市議会議長賞

異常なしと聞いて病院出る時に初めて気付く玄関の花

秋山 一美

（大津市）

大津市文化連盟会長賞

肖像が首横に振る新紙幣キャツシユレス化に異を唱ふかに

北村 環

（彦根市）

大津短歌連盟会長賞

今日ぐらい行方不明もいかなとスマホ持たずに深山の寺へ

岸田 孝子

（大津市）

NHK大津放送局賞

くり返す冒険挑戦いつまでも私が自分であるための道

松宮 啓子

（大津市）

エフエム滋賀賞

マグカップ両手で包んで暖をとる茶の間の火鉢知らない子らと

西東 靖子

（大津市）

京都新聞賞

若き日は今日よりは無きと背を押され老いて茶道の門をたたきし

黒川 映湖

（大津市）

KBS京都賞

木洩れ日の森の小径に聞く鳥の声の中より鶯の声

吉田 邦子

（草津市）

毎日新聞社賞

かじかむ手上から温めてくように君の言葉は体温をもつ

山本 弘美

（大津市）

佳
作

卒寿米寿祝われ実感なきままに今を一番よき日と思う

林 貞子

(大阪府豊中市)

吾の顔が男に変化するアプリスマ画面に若き日の父

蜘蛛野 澄香

(栗東市)

「ぼ」と言えば食べたいブドウが目の前にしいちゃん一才魔法が使える

田村 康子

(甲賀市)

ふと触れる同じところにあるほくろ浮かぶ親父の肩を揉んだ日

山本 洋祐

(大津市)

アルバムをそつと開ければ静けさに溶け込むような友の声する

葛城 照美

(大津市)

第二十四回 大津市民俳句大会 入賞作品（一般の部）

特選

大津市長賞

句と遊び米寿の春を迎へけり

池田 光月
（大津市）

大津市議会議長賞

語り部は二十一歳原爆忌

船岡 房公
（大津市）

大津市文化連盟会長賞

魂の抜ける暑さや京の辻

横川 和釀
（大津市）

大津市俳句連盟会長賞

三井寺に孔雀の睡る良夜かな

増永 賢一
（大津市）

朝日新聞社賞

新蕎麦の香り一気に啜りけり

瀬津 長司
（大津市）

産経新聞社賞

書初やあふれる元気かすれ文字

北村 正幸
（大津市）

中日新聞社賞

荒稻（あらしね）をかんで刈り日を決める父

板倉 ちえ子
（大津市）

BBCびわ湖放送賞

城址とふ風の踊り場夏の蝶

森下 万与
（草津市）

読売新聞社賞

向日葵やドクタイエロー最終ラン

風羽 ふわり
（大津市）

選者賞

石倉政苑 特選

句と遊び米寿の春を迎へけり

池田 光月
(大津市)

七里源一 特選

語り部は二十一歳原爆忌

船岡 房公
(大津市)

志村宣子 特選

三井寺に孔雀の睡る良夜かな

増永 賢一
(大津市)

山田鳴子 特選

新蕎麦の香り一気に啜りけり

瀬津 長司
(大津市)

佳作

古代湖と歩む近江や鮒の鮓(すし)

吉田 節夫
(野洲市)

ぎゅつと抱き締め息吐かす浮輪かな

北村 環
(彦根市)

京という縁なき単位ところてん

小菅 信一
(東近江市)

出土器のジグソーパズル秋灯

原田 しづ子
(大津市)

※当日句の受賞者は11月24日の俳句大会で決定します。